

建設部門DX推進行動計画（概要版）

1 位置付け

「**あいちDX推進プラン2025**」の建設部門における行動計画として、対象事務・事業の洗い出し、スケジュールの管理、課題の整理と対策案の検討、KPIの設定とPDCAを実施するために策定

＜「あいちDX推進プラン2025」の視点・柱＞

①県行政の効率化・DXの推進（県民の利便性向上）	1 先進的なICT技術を取り入れた業務変革
	2 ICT環境のモバイル化
	3 行政手続のデジタル化
②データの活用	4 官・民における積極的データ活用
③県域ICT活用支援	5 県全体の情報化の推進
④デジタル人材育成	6 デジタル人材の育成

2 建設部門が目指す姿

業務の合理化（効率化・省力化）・高度化

生産性向上

働き方改革促進

県民サービス向上

危機管理能力向上

3 建設部門における重点テーマ

【1】業界と連携した現場業務の取組の強化

【2】テレワークの実効性の強化

【3】Webコミュニケーションの強化

【4】災害時対応における機動性の強化

4 取組期間

2021年度～2025年度（5年間）

5 KPIの設定

2025年度における本県の建設部門DXの姿が具体的にイメージできるよう、以下の指標を掲げる。

- 「ICT活用工事」の導入割合（2025：100%）
- 「遠隔臨場活用工事」の導入件数（2025：250件）
- 電子成果品と管理施設データの関連付け（2025：新規分100%、過年度分15%）
- Web環境を利用した防災訓練の実施状況（2025：本庁及び全地方機関で実施）
- 防災安全協定に基づく巡視対象施設の台帳の電子化の導入割合（2025：100%）

6 個別取組事項（65項目）

（ ）：具体的に取り組む内容の項目数
★：「あいちDX推進プラン2025」掲載取組事項

【1】業界と連携した現場業務の取組の強化（49項目）

①行政手続等のオンライン化（10項目）

- ★行政手続のオンライン化（2項目）
- ★収納事務のキャッシュレス化等（7項目）
- ★電子契約サービスの導入

②安全で快適な労働環境の実現（7項目）

- ★i-Constructionの推進（4項目）
- ★あいち建設情報共有システムの活用
- 遠隔臨場の活用（2項目）

③点検・管理業務の効率化（18項目）

- 統合道路管理システムなどの高度化等（3項目）
- 施設台帳の電子化等（4項目）
- 管理施設データの共有（3項目）
- ★IoTやドローンの活用による業務効率化（6項目）
- ★地籍調査における認証者検査の一部システム化（2項目）

④デジタルデータを用いた社会課題の解決（6項目）

- ★愛知県オープンデータカタログサイトの公開データの拡大
- ★建設部門が保有する各種データの標準化の推進（2項目）
- 国庫補助事業事務の効率化
- 特殊車両の通行手続きの迅速化
- 3次元データ活用環境の整備

⑤ICTの社会実装（8項目）

- ★MaaS等新たなモビリティサービスの普及促進
- ★ITS・交通対策の推進
- ★交通系ICカード決済導入に係る支援
- ★あいち航空ミュージアムAR等を活用したデジタル展示の導入
- ★RPAの導入等（3項目）
- 先進的IT技術の活用

【2】テレワークの実効性の強化（3項目）

- ★あいち建設情報共有システムの活用
- 遠隔臨場の活用（2項目）

【3】Webコミュニケーションの強化（6項目）

- ★Web会議環境の整備（2項目）
- Web要望環境の整備（2項目）
- ペーパーレス化の更なる推進等（2項目）

【4】災害時対応における機動性の強化（7項目）

- ★Web会議環境の整備
- Web環境を利用した災害情報収集（2項目）
- Web環境を利用した防災訓練（2項目）
- Web環境を利用した情報伝達の効率化（2項目）

個別取組事項の代表事例

i-Constructionの推進

＜取組内容＞
情報化施工を始めとした「ICT活用工事」の導入を推進する。



建設部門が保有する各種データの標準化の推進

＜取組内容＞
統合型GIS等との連携により各種データを統合的に管理する「統合情報データベース」の整備を推進する。



Web環境を利用した災害情報収集

＜取組内容＞
あいち土木被害情報共有システム（AIDIS）を導入する。

